

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

## 【事例概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	救急現場到着後、団地敷地内に進入時、出入りロチェーンに引っかかり転倒した事例
3. 体験した事例の中心的要素	夕刻時の救急要請により現場到着後、団地敷地内に進入しようとしたところ、暗闇のためポールの間にかけていたチェーン（地上約50cm）を見落としたため、足に引っかかり転倒、両膝を打撲したもの。
4. 体験した事例の原因・理由	暗闇にもかかわらずライトの点灯を怠った。

## 【体験した事例の直接的な原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	情報入力に問題があった。
------------------	--------------

## 【体験した事例について】



1. 発生日時	平成 年 3 月 日 午後 17 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：団地敷地内
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	転倒、
7. 事例体験時の活動	救急現場到着、 [ ]
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	その他：団地敷地内侵入時
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ ]、同様の活動[初めて]、任務[車長]
○当事者B	年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ ]、同様の活動[ ]、任務[ ]
○当事者C	年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ ]、同様の活動[ ]、任務[ ]
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	患者宅の団地西側路上に救急車を北側に向けて部署	
経過2	当事者A	車両助手席から降車後、団地敷地内出入り口であったため進入しようとしたところポールの間にかかっていたチェーンに足が引っかかり転倒	
経過3			
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】



- 事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか?  
 ヒヤリハットの場合: ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか?

周囲の視界が確保できていなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	はい
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ
-----

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

目の前の状況を自分の都合のいいように考えず、一步踏み込んで危険をイメージし対応する。

○装備・資機材の対策について

夜間などの活動時に視野が悪い範囲がある場合は躊躇せず照明等を利用し危険を見抜く。また、携行器材は持ち出す位置に置くなど工夫する。

○活動環境の対策について

夜間などの活動時に視野が悪い範囲がある場合は躊躇せず照明等を利用し危険を見抜く。

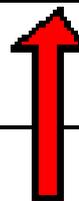
○指揮・情報伝達の対策について

今回は、後続の隊員が傍におり転倒を目撃していたため、他の転倒者は発生しなかったが、後続者には危険性を確実伝え防止する必要がある。

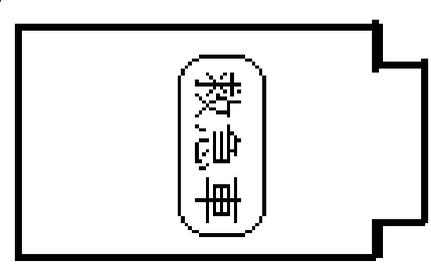
傷病者宅  
団地

ホール

子イ一)



当事者A



救急車

